

教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区分	各教科										特別の 道徳 教科	特別 活動	総合 的な 学習 の 時間	外国 語 活動 + 英語 活動	総 授 業 時 数
	国 語	社 会	算 数	理 科	生 活	音 楽	図 画 工 作	家 庭	体 育	外国 語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作動画教材『OK English(約8分の動画教材)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。動画の内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をしている活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともに動画を繰り返し

【資料2】OK English



返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

3 本校の取組

本宿小学校は、平成23年から岡崎市から研究委嘱を受け、英語研究に取り組んできました。平成27年度までの5年間を費やし研究を進めてきたなかで作成してきた独自の英語活動のカリキュラム、指導方法、英語教材を生かし、現在も岡崎市の教育課程に合わせた英語活動と外国語科の学習を行っています。

第1学年から第4学年までは、毎日8時10分から8時20分の時間を活用し、「Eタイム」として『OK English』のDVDを視聴しながらチャンツのリズムに合わせた発音練習を繰り返したり、歌や踊りを楽しんだりして英語に慣れ親しむことができます。英語活動の授業では、第1学年から第4学年までは「ミュートタイム」として、ALTやSTを交え英語に慣れ親しむ活動に取り組みます。第5学年、第6学年は外国語科の学習として、週2時間の学習をALTと共に進めています。

委員会活動「スマイル委員会」では、児童による企画をもとに年1回の全校英語集会を開催し、ゲームや体を使った遊びを通し、英語を楽しむ活動を行っています。また、3月には「One day ALT」と称して、1日ALTの先生と共に過ごす日を設定しています。一方、教師の学び合う場として、これまで継続的に本校の英語研究に携わってこられた大学の先生からの指導や助言をいただきながら、英語の研究授業を行ったりして日々研鑽を積んでいます。

○外国語活動の指導計画としては、年間の授業時数として、以下のように時間を設定しています。

1・2年生	12時間	3・4年生	35時間
5・6年生	70時間	特別支援学級	12時間

○目指す子供像として、「英語に慣れ親しみ、伝え合う楽しさを知り、積極的に英語でコミュニケーションを図る子」とし、学年の目標を以下のように掲げて実施しています。

- 1年生：自分が好きなもの、欲しいものをはっきりと相手に伝えることができる子
- 2年生：自分の好きなものや好きなことを伝え合うことができる子
- 3年生：相手を意識し、表情やジェスチャーを交えて自分の意思を伝えることができる子
- 4年生：場面や状況において、自分の意思を伝えあうことができる子
- 5年生：習った表現やツールを生かし、自分の考えや思いを進んで伝えようとする子
- 6年生：習った表現やツールを生かし、場面や状況に合わせ自分の考えや思いを表現しようとする子
- 45組：相手の目を見て話す、聞く、うなづくといったコミュニケーションを取ろうとすることができる子